

# 平成29年度事業報告書

## 1. 総 括

平成29年度は、今まで以上に地域との結びつきを強め、地域の中で社協が見えるような事業展開を模索した1年となりました。

生活支援体制整備事業では、市全域を対象範囲とする生活支援コーディネーターを配置し、住民懇談会や地域サロン、地域ケア推進会議等を通して地域の生活課題の把握、解決策の仕組みづくりや地域資源の掘り起こしに努めました。お寺やNPO法人、専門職等地域資源を有効活用しながら地域の担い手養成に取り組みましたが、新たな連携が生まれた一方で、市圏域での活動の難しさを感じました。

また、本事業と一体的に取り組んでいる高齢者見守りネットワーク事業においても、協力事業所や関係者以外の地域住民による日常的な見守り活動の動きはまだ弱く、引き続き地域への働きかけが必要です。

9月に発生した台風18号災害では、被災世帯の復旧支援のため高校生を始め多くの市民ボランティアに協力いただきました。通常のボランティアセンター業務によるボランティア派遣とし、職員が被災地域に入り込み、区長とともにニーズ集約及びボランティアをマッチングする方式をとりましたが、地区と社協が近づいた一方で、区長の負担がより増加したことが課題として残りました。

また、ボランティア登録者数が減少傾向にある中で、ボランティアセンター事業としてボランティア啓発イベントやボランティア養成講座を開催しましたが、新たなボランティアの登録にはつながらず、センター機能の強化が必要となっています。

次に、平成30年度からの4カ年を計画期間とする第3次地域福祉活動計画を策定しました。基本的に第2次計画を引き継いでいますが、内容を整理し、より地域住民や関係者にわかりやすい内容としました。この計画に沿って地域の福祉課題の解決を目指し取り組んでまいります。

法人運営面では、会費、寄付金等自主財源の減少傾向は変わらず、厳しい財政状況の中での運営が続いています。次年度からの3カ年計画である第2次基盤強化計画に沿い、強化に取り組めます。

また、多くの職員を抱える介護保険事業について、現在の運営形態を見直し、将来に向けた経営方針を明確に打ち出す必要があります。

## 2. 事業内容

### I 地域福祉推進事業

#### 1 福祉活動啓発事業

##### (1) 広報・啓発活動

地域の話題等市民に関心のある情報を広報紙やホームページを活用し正確にわかりやすく伝えるよう努めた。金融機関等にも広報紙を配布し、社協や福祉活動を広く知ってもらえるよう啓発した。また、FMたんごや有線放送等の情報媒体を活用した広報の展開、マスコットキャラクターの一層の活用や地域イベントを利用した啓発活動に取り組んだ。

##### 【主な内容】

##### ① 広報紙発行

- ・ 広報紙ころを年6回（各回21,000部）発行した。

##### ② ホームページでの暮らしや活動に役立つ情報発信

- ・ 年間アクセス数：延べ6,138（前年度より551件増）

##### ③ マスコットキャラクターを活用しての福祉啓発活動

- ・ 地域行事や福祉イベントへ年3回「あいたん」（着ぐるみ）を派遣した。

##### ④ FMたんご「おはようございます社協です」

##### での福祉活動紹介

- ・ 毎月第2火曜日のモーニングサンド放送内で、「おはようございます社協です」のコーナーを設け、地域活動やボランティア活動、社協事業の紹介を行った。（月12回）

##### ⑤ イベント参加による福祉啓発活動

##### ⑥ ケーブルテレビや有線放送等、既存のメディアを活用した情報発信



##### 【成果】

- ・ 広報紙の掲載記事を見て、高齢者等見守りネットワークの協力企業の登録や、募金方法の問い合わせがあった。
- ・ ケーブルテレビの放映により、社会福祉大会やボランティアフェスタ等に参加できなかった方にも内容を伝えることができた。

##### 【課題】

- ・ 社協活動や、会費・共同募金配分金の使途が分からないという意見が多く、紙面づくりの工夫を含め、広報活動の効果を検証することが必要。
- ・ ホームページのアクセス数が少ないため、社協活動だけでなく福祉情報を定期更新するなど、暮らしに役立つ情報発信の工夫が必要。
- ・ 「あいたん」の派遣が社協活動や福祉活動の啓発につながっていない。活動に関する紹介文を見直し、派遣時に啓発時間を設けてもらうよう改善する。

#### 2 住民主体の福祉活動支援

##### (1) ひと・まち・くらし輝け事業

住民が主体となって行うまちづくりや生活支援等の活動に対し、助成だけでなく活動の伴走役として、活動に関する相談・活動に必要な物品の貸出・講師派遣や調整等、個々のニーズにあった支援を行った。

### 【主な内容】

#### ① 福祉活動助成と活動支援

- ・ 地域福祉推進組織の組織化状況…資料1  
組織化地区数 153 地区（組織化率 73.9% 新規組織化 3 地区）
- ・ 小地域いきいきネットワーク活動状況…資料2  
実施地区数 138 地区（実施率 66.7%）  
実施事業数 283 事業 参加延べ人数 15,989 人
- ・ 地域主催サロン…資料3  
実施地区数 101地区  
サロン数 109か所（内訳 区民全体61・高齢者42・子育て6）  
実施回数 1,123回 参加延べ人数 18,183人
- ・ 当事者・ボランティア主催サロン…資料4  
サロン数 22か所  
（内訳 高齢者6・障害者4・児童青少年7・住民全般5）  
実施回数 326回 参加延べ人数 4,599人
- ・ 地域ひとつなぎ事業…資料5  
一人暮らし高齢者等を個別訪問、配食、電話による安否確認等の方法で見守ることによって高齢者の孤立・孤独を防ぎ、安心・安全な地域づくりを行った。  
実施団体 11 団体

※注：小地域いきいきネットワーク活動…福祉委員や福祉推進組織等が行う、調査・相談・見守り・福祉学習・ふれあい事業等のこと

サロン…仲間づくりや居場所づくりを目的に、年4回以上行う集いのことで、福祉委員や福祉推進組織等が行うサロンを「地域主催サロン」とし、障害者団体等の当事者やボランティアが主催するサロンを「当事者・ボランティア主催サロン」としている。

#### ② 子育て応援事業

- ・ 共同募金配分事業により、新入学児童への図書カードを贈呈した。

### 【成果】

- ・ サロン助成対象団体と回数制限を拡大したため新規で取り組む団体が増えた。さらに、前年度より開催回数を増やす団体もあった。

### 【課題】

- ・ ボランティアグループが実施するサロンの増加とともに、その活動費のためにサロン活動助成ではなくボランティアグループ活動助成を活用する団体が増えた。それぞれの助成内容の整理や調整が必要。
- ・ 今後、小規模多機能自治（概ね小学校区域において、目的型組織や地縁型組織等のあらゆる団体が結集し、地域課題を自ら解決し、地域運営を行う仕組み）の活動として、新たな体制の中で地域福祉活動が展開されることも予想される。既存の活動が活かされるよう、地域とともに考えていくことが必要。



## (2) 京丹後市ボランティアセンター事業

ボランティア登録、活動調整、ボランティアグループ活動助成等による支援、市ボランティア連絡会及び各支部等の円滑な運営と活動支援を行った。

また、「広報こころ」でのボランティア情報発信や、福祉施設とこれから活動を始める人の視点にたったボランティア養成講座を行い、活動しやすい環境づくりと活動のきっかけづくりに努めた。

### 【主な内容】

#### ① ボランティア相談受付と活動調整

相談件数 123 件（内訳：派遣 86、希望 37）

#### ② ボランティア啓発イベントの実施

- ・ 3月3日ボランティアフェスタ 約250人参加
- ・ 活動の啓発と普及、個々の活動意欲を高めるため、ボランティア・市民活動に関心のある人や実践している人が集い、参加型並びに体験型コーナー等で交流を深めた。



#### ③ ボランティア養成講座（「支えあいの地域づくり講座」4回シリーズ）の開催

- ・ 7月27日認知症サポーター養成「誰もが安心して暮らせる地域づくり」 60人参加  
※認知症サポーター（個人）と京都高齢者安心サポート企業（事業所）の養成講座を兼ねて実施。

内容：京丹後市の高齢者の状況、認知症の基礎知識、認知症のかたへの対応、高齢者等見守りネットワーク等について

講師：認知症キャラバンメイト（京都地域包括ケア市推進機構、丹後中央病院、京丹後市社会福祉協議会）

- ・ 8月4日施設協力ボランティア養成「施設見学ツアー」 20人参加  
見学施設：いちがお園・かがやきの杜・おおみや苑ケアハウス赤坂

- ・ 8月26日子育て支援養成 18人参加  
内容：「明日誰かに試したくなる面白失敗あそび」（保護者・指導者・支援者向け）

講師：あそびの工房もくもく屋  
事務局長 田川 雅規 氏

- ・ 8月26日高齢者支援養成 49人参加  
内容：「ここにあなたが居てくれて本当に良かった！と言ってもらうための講座」（対人関係コミュニケーション・祖母祖力UP）

講師：あそびの工房もくもく屋 事務局長 田川 雅規 氏



#### ④ ボランティアグループ活動助成

- ・ ボランティア基金運用による助成 46 団体 1,186,760 円
- ・ 京都ボランティアバンク補助金による助成
  - スタートアップ支援補助金（ほっぷ） 6 団体 124,000 円
  - ボランティア活動継続支援補助金（すてっぷ） 1 団体 50,000 円

#### ⑤ ボランティア保険助成

一般 1,290 人 ・ 福祉委員 638 人 ・ 災害 290 人 ・ 雪おろし・雪すかし事業 177 人

#### ⑥ 市ボランティア連絡会の活動支援

- ・ ボランティア基金により活動助成金 396,000 円を交付した。
- ・ 事務局を担い、役員会 7 回・水をつなぐクリーン大作戦（雨天のため、網野支部及び丹後支部のみの開催）・分野別交流会（参加者が少なかったため中止）・ボランティアフェスタ・各支部活動の支援を行なった。

#### ⑦ 災害備品等の整備

新たに発電機、高圧洗浄機、一輪車、ブルーシート、スコップ等を整備した。

#### ⑧ 台風 18 号災害ボランティア活動

- ・ 活動依頼地区数 9 地区（網野町 7、丹後町 1、久美浜町 1）
- ・ 活動依頼件数 33 件
- ・ 活動延件数 66 件（平成 29 年 9 月 19 日（火）～9 月 29 日（金））
- ・ 活動延人数 444 人（ 〃 ）
- ・ 活動内容 床下の泥出し、家具、畳等の搬出、片付け等
- ・ ボランティア募集・活動期間 平成 29 年 9 月 20 日（水）～9 月 24 日（日）
- ・ ボランティア保険加入手続者 290 人

#### 【成果】

- ・ ボランティア養成講座により施設とボランティアのつながりができ、新たな活動が始まった。
- ・ 台風 18 号の被災世帯支援に対し、市や京都府災害ボランティアセンターの協力を得ながら、地区の要請に応じたボランティア調整・派遣を行うことができた。

#### 【課題】

- ・ ボランティアセンター機能（相談受付・ボランティアの登録・活動調整）の発揮するために、登録につながるような養成講座が必要。
- ・ 市ボランティア連絡会への加盟グループが減少しており、連絡会のあり方についての検討が必要。



### 3 豊かに生きる力の育成

#### (1) 自分育て応援事業

京丹後市でより心豊かに生きるために、自分を育てることを応援し、暮らしに必要な情報や知識を得る機会をつくることで自助能力の向上を図った。

#### 【主な内容】

- ① アクティブシニアスクールの開催 ※Ⅱ 4 (1) 生活支援体制整備事業により実施。
- ② 「自分育て」教室 ※Ⅱ 4 (1) 生活支援体制整備事業により実施。

## (2) 福祉人材育成事業

地域福祉の推進役である福祉委員を委嘱し、研修会による人材育成、身近な圏域における相談、見守りやたすけあい活動、地域福祉委員会活動の支援を行った。

### 【主な内容】

#### ① 福祉委員活動の支援

地域福祉活動の推進役である福祉委員として 612 人を委嘱し、福祉委員研修会等による人材育成、身近な圏域における相談、見守りやたすけあい活動、地域福祉委員会事業による福祉委員活動を支援した。

- ・ 福祉委員数 612 人（峰山 201・大宮 93・網野 108・丹後 65・弥栄 60・久美浜 85）

#### ② 地域福祉委員会の活動支援

〈峰山町地域福祉委員会〉

会議：4月24日（参加26人）・5月16日（参加26人）・3月9日（参加8人）

事業：7月20日（参加24人）防災講習会  
9月1日（参加14人）視察交流研修「地域づくり研修」

〈大宮町地域福祉委員会〉

会議：4月25日（参加11人）・9月19日（参加10名）

事業：7月2日（参加10人）施設見学（あゆみが丘学園）

〈網野町地域福祉委員会〉

会議：4月20日（参加29人）

事業：10月19・20日（参加26人）干支押絵づくり講習会  
福祉用具寄付のためのプルタブ回収

〈丹後町地域福祉委員会〉

会議：4月24日（参加19人）

事業：11月7日（参加28人）訪問看護『きずな』との交流会・干支押絵づくり

〈弥栄町地域福祉委員会〉

会議：5月10日（参加13人）・3月27日（参加13人）

事業：9月4日（参加6人）準備会・10月17日（参加45人）干支押絵づくり

〈久美浜町地域福祉委員会〉

会議：7月10日（参加9人）

#### ③ 福祉講座の実施

「支えあいの地域づくり講座」としてボランティア養成講座とあわせて実施。

※内容はⅠ 2（2）京丹後市ボランティアセンター事業にて実施

### 【成果】

- ・ 日常的に個々の福祉委員からの相談を受け、地域福祉活動の後方支援ができた。
- ・ 地域や団体からの要望に沿った福祉講座を実施し、福祉への理解者を増やすことにつながった。

### 【課題】

- ・ 世帯数の減少と高齢世帯の増加等により、福祉委員の選出が困難な地区もある。地区の事情や小規模多機能自治の方向性にあった福祉活動の支援が必要。
- ・ 地域福祉委員会事業は、委員が主体的に取り組むことが困難。



### (3) 共に生きる地域づくり事業

それぞれの地域でおきていることを語り、そのために必要な地域づくりの活動は何かを探るために懇談会を行った。

また、たすけあいの心を育む人づくりを目指し、学校における福祉教育、地域の住民や企業、団体の福祉学習において出前講座を行い、市全体の福祉力が高まるよう推進した。

#### 【主な内容】

##### ① 懇談会

・開催回数：21回      ・延べ参加者数：421人

峰山…	「峰山町西地区住民懇談会」	6月28日	(参加15人)
	「峰山町東・南地区住民懇談会」	6月30日	(参加25人)
	「峰山町吉原地区住民懇談会」	7月1日	(参加16人)
	「峰山町五箇地区住民懇談会」	7月5日	(参加17人)
	「峰山町丹波地区住民懇談会」	7月6日	(参加22人)
	「峰山町新山地区住民懇談会」	7月12日	(参加18人)
大宮…	「大宮町地域福祉委員」	7月2日	(参加12人)
	「大宮中学校3年生」	7月10日	(参加105人 3年生全生徒)
	「河辺地区福祉懇談会」	7月13日	(参加31人)
	「口大野区」	8月19日	(参加34人)
網野…	「元町サロン」	8月5日	(参加18人)
	「下岡サロン」	8月10日	(参加22人)
	「区長懇談会」	8月29日	(参加8人)
	「島津すこやかサロン」	8月30日	(参加21人)
	「網野支所委員会」	9月15日	(参加7人)
丹後…	「京丹後市ボランティア連絡会丹後支部」		
		6月27日	(参加7人)
	「丹後支所委員会」	9月5日	(参加10人)
弥栄…	「弥栄町地域福祉委員会」	7月20日	(参加7人)
	「弥栄町公民館連絡協議会」	8月3日	(参加10人)
	「京丹後市ボランティア連絡会弥栄支部」		
		8月7日	(参加8人)
久美浜…	「久美浜町福祉懇談会」	7月10日	(参加8人)



##### ② 福祉学習

・学校等福祉教育活動推進

保育所（16か所）・幼稚園（6か所）・小学校（19校）・中学校（5校）が行う福祉教育に対する助成を行った。

- ・学校福祉学習への協力…資料6

講師派遣の調整や社協職員の出前講座、福祉学習の際に使用する用具等の貸し出しを行った。

- ・地域住民や企業への出前講座

サロン（5 か所）・区（2 地区）・団体（1 団体）・事業所（1 事業所）に対し、高齢者や認知症に関すること、認知症サポーター養成講座、防災・減災学習会や災害に関することについての講座を行った。

### 【成果】

- ・住民懇談会のグループ討議では活発な意見交換ができ、課題解決に向けた具体的な提案があった。

### 【課題】

- ・懇談の内容を深めるためにテーマ設定、進行方法等の工夫が必要。
- ・出前講座の活用を広げるため、内容の充実と情報媒体を活用した広報が必要。
- ・ボランティア養成講座やアクティブシニアスクールの受講者が出前講座の市民講師として活躍できるよう、新たなしくみづくりが必要。



## 4 生活支援・在宅福祉活動

### （1）みんな暮らしの助っ人事業

公的な福祉サービスでは解決できない課題に対し、福祉関係機関だけでなく、企業や団体、個々の地域住民と連携をしながら解決に向けて取り組んだ。

#### 【主な内容】

#### ① 京丹後市高齢者等見守りネットワーク事業

※Ⅱ 4（1）生活支援体制整備事業により実施。

#### ② いるもの交換会

ボランティアフェスタにおいて、介護用品や学用品等の「ゆずりますコーナー」を設けた。

#### 【成果】

- ・日常的なさりげない見守りや助けあいについて、活動周知と参加への呼びかけができた。

#### 【課題】

- ・住民、福祉関係者、企業や団体が連携して暮らしの困りごとを解決していく事例紹介等により、活動啓発や情報提供が必要。

### （2）福祉有償運送事業 …資料7

公共交通機関の利用が困難な方を対象に、医療機関への通院や入退院並びに公共機関での福祉サービス手続等の外出を福祉車両等により支援した。

### 【主な内容】

- ・ 実利用者数 149人 ・ 利用回数 7,328回

### 【成果】

- ・ 安心して受診できる環境づくりの一端を担えた。

### 【課題】

- ・ 新規登録者数が減少している。その原因について調べる必要がある。

## （3）福祉サービス利用援助事業

認知症高齢者、知的障害者及び精神障害者等判断能力が十分でない方が、地域において自立した生活が送れるよう福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等を支援した。

また、成年後見制度における法人後見について検討した。

### 【主な内容】

- ・ 実施体制：専門員2人 生活支援員31人（内、嘱託職員1人）
- ・ 問合せ件数：14件
- ・ 初回相談件数：8件
- ・ 相談・連絡調整活動の実施状況：7,215件
- ・ 利用状況：新規11人 実利用者数（年度）96人 3月末利用者数78人
- ・ 生活支援員研修：6月26日（参加11人）  
丹後園居宅介護支援事業所 末次友美氏を講師に招き「介護保険法及び高齢者に対する基本的な知識についての講義」「グループワーク事例」により学んだ。
- ・ 法人後見についての検討  
関係機関（長寿福祉課及び障害福祉課）との調整会議 7回  
福祉サービス利用援助事業及び成年後見制度の利用実態と課題アンケート」による調査  
（回収187票/対象者数229票 回収事業所数107/128事業所）  
“権利擁護支援体制のあり方検討会”にかかる事前学習に参加 1回  
福祉サービス利用援助事業及び成年後見制度の利用実態についての説明会 2回  
1月11日 事業者協議会高齢者部会 3月8日 事業者協議会障害者部会

### 【成果】

- ・ アンケート調査により、事業者がつかんでいる利用対象者の実状や、事業や制度の認知度等について、市と本会がともに状況把握できた。
- ・ 説明会を実施したことで福祉関係者への理解が広がり、新たな相談につながった。

### 【課題】

- ・ 福祉関係者にも事業や制度内容の理解が進んでいないため、説明会等を継続して実施する必要がある。

## （4）生活福祉資金貸付事業

所得が少ない世帯、障害者、療養や介護を必要とする高齢者がおられる世帯を対象に、資金の貸し付けと必要な相談支援を行い、安定した生活がおくれるように支援した。

### 【主な内容】

- ・ 生活福祉資金相談体制整備事業として専任相談員1名を継続設置した。
- ・ 借入申込者等に対し、民生委員や関係機関と連携しながら面接等を通じて世帯状況を把握しながら支援を行った。
- ・ 貸付制度について、ホームページ、広報紙、市くらしの支援ガイドに掲載して周知を図った。

・ 貸付内訳

資金種類	件数(件)	金額(円)
福祉資金 福祉費 一般福祉	2	3,736,000
緊急小口資金	2	200,000
教育支援資金 教育支援費	2	681,000
就学支援費	2	1,000,000
合計	8	5,617,000

**【成果】**

- ・ 生活困窮者自立支援機関との連携しながら、生活福祉資金の貸付後も、家計支援や近況を確認しながら支援を継続できた
- ・ 相談者の生活課題にあった支援事業者とつないだり、制度利用の手続きを援助し、生活の安定に向けた支援ができた。

**【課題】**

- ・ 償還率が府内でも低い。借受人等の生活状況について、民生委員や関係機関と情報を共有しながら償還を進めていく必要がある。

**(5) 雪下ろし・雪すかし事業 …資料8**

大雪の被害により日常生活に支障をきたす高齢者世帯や障害者世帯等が、住みなれた地域で安心して生活できるよう、地区の協力を得て支援した。

**【主な内容】**

- ・ 雪下ろし 20軒 雪すかし 997件

**【成果】**

- ・ 大雪であったが、地区の理解と多くの協力者により、速やかに対応がなされた。

**【課題】**

- ・ 地区が混乱しないよう、市の雪害対策事業と本事業との棲み分けについて分かり易い説明書を作成する必要がある。
- ・ 地域内で協力者が見つからない場合の、地区間の連携方法について検討する必要がある。
- ・ 地区に福祉サービス利用のための除雪相談があった。今後、本事業以外での支援方法について、行政とともに検討する必要がある。

**(6) 地域住民支えあい活動支援事業**

本会の車両をモデル地域に貸し出し、地域住民による高齢者の通院支援等の支えあい活動を支援した。

**【主な内容】**

- ・ モデル地区：弥栄町野間地区
- ・ 活動事業数：7事業（通院支援・サロン・老人クラブ・健康診断・敬老会・除雪・買い物ツアー）
- ・ 延べ利用者数：347人
- ・ 延べ運転活動者数：61人

**【成果】**

- ・ 高齢者の社会参加や通院に対する地域住民の支えあいの活動強化につながった。

**【課題】**

- ・ この事業に使用できる車両が1台しかないため、モデル地区を変更することになった場合、現在のモデル地区の支えあい活動が継続できる方法を検討する必要がある。

## (7) 外出支援事業

新たな移動手段として、公共交通空白地区の内 峰山町 内記区・鱒留区・西山区 網野町 塩江区・磯区・切畑区・仲禅寺区に居住する高齢者の買い物等の外出を支援した。

### 【主な内容】

- ・ 活動延べ日数：54日（内訳、峰山22日 網野32日）
- ・ 延べ利用者数：175人（内訳、峰山65人 網野110人）

### 【成果】

- ・ 買物支援だけでなく、利用者同士のつながりづくりにもなった。

### 【課題】

- ・ 運行曜日を固定しているため、祝日と重なった場合に利用できないという課題について検討する。

## (8) 食の自立支援サービス事業…資料9

高齢者や障害がある方で、食事の支度や家族等による食事の提供が困難な方に対し、定期的にバランスのとれた食事を自宅まで配達するとともに配達時に利用者の安否確認を行った。

### 【主な内容】

- ・ 利用者の病態や健康状態に応じた食事調整を行った。
- ・ 栄養改善や献立技術の向上を図るための研修に参加した。
- ・ 配達時における安否確認を実施した。
- ・ 利用実施人数 71人
- ・ 配食数 15,067食（前年度より1,166食減）

### 【成果】

- ・ 個々の利用者に適した食事を提供できた。

### 【課題】

- ・ 施設入所や死亡による利用終了者より新規利用者が少ないため、配食数が減少傾向に歯止めがかからない。
- ・ 配達時に安否確認が困難なことがあるため、他の職員との連携が必要。

## (9) 京丹後市丹後老人福祉センター管理運営事業…資料10

高齢者の生きがいづくりや憩いの場である施設を安全で適正に管理した。

### 【主な内容】

- ・ 延べ利用人数 5,651人（前年度より419人増）  
（内訳 部屋利用者数 2,436人 鍼灸利用者数 270人 温泉入浴者数 2,945人）

### 【成果】

- ・ 業者による定期点検、必要箇所の修繕、貸し部屋・浴場等の清掃を徹底したことにより、利用者数の増加につながった。

### 【課題】

- ・ 建物の老朽化により、毎年大規模な修繕が必要。

## (10) 障害居宅介護事業…資料11

利用者が、居宅において自立した日常生活を営むことができるよう援助した。

### 【主な内容】

- ・ 利用者のニーズを把握し、関係機関との連携を図ることで、利用者の自立支援に向けた計画の見直しや効果的な支援を行った。

- ・ 利用実人数 13 人
- ・ 延べ利用回数 1,602 回（前年度より 148 回増）

**【成果】**

- ・ ヘルパー訪問し支援をすることで、体調面、精神面が不安定な利用者が在宅での生活を続けることができた。

**【課題】**

- ・ 新規利用者を増やすため、居宅介護支援事業所とさらに連携を深める。

**(11) 在宅重度身体障害者訪問入浴事業…資料 1 2**

入浴サービスの提供により、重度身体障害者の在宅生活を支援するとともに、その家族等の介護負担の軽減を図った。

**【主な内容】**

- ・ 安全・安心・安らぎ、家族の介護負担の軽減（身体の清潔）を目標にサービスの提供を行った。
- ・ 利用実人数 3 人
- ・ 延べ利用回数 139 回（前年度より 6 回減）

**【成果】**

- ・ 自宅での安心、安全な入浴を提供することができた。
- ・ 利用者の希望による訪問日時変更も可能な限り対応し、利用者の生活保持に努めた。

**【課題】**

- ・ 現在 2 名の利用者のうち 1 名が介護保険へ移行予定。今後、事業のあり方の検討が必要。

**5 共同募金**

**(1) 赤い羽根共同募金**

10 月 1 日の開始式に参加し、運動期間中は共同募金会や関係機関と連携して募金活動に協力した。また、配分金による事業を広報紙やさまざまな機会の場で周知し、共同募金への理解及び募金増額に努めた。

**【主な内容】**

**① 京丹後市共同募金会の募金活動に協力**

目標募金額 9,284,000 円（市全体）

区 分	金 額 (円)	区 分	金 額 (円)
戸別募金	7,003,680	職域募金	366,179
街頭募金	235,128	イベント募金	57,274
法人募金	1,332,391	募金箱 その他	83,846
合 計			9,078,498

**② 共同募金配分事業**

京都府共同募金会より 7,024,584 円の配分金を受け事業を実施した。

区 分	事 業 名 (件数)	金 額 (円)
高齢者	高齢者当事者団体活動助成 (11)	455,000
	高齢者サロン活動助成 (6)	267,000
障害児者	障害児者当事者団体活動助成 (16)	465,000
	障害児者サロン活動助成 (4)	156,000
児童青少年	児童当事者団体活動助成 (4)	100,000
	子育てサロン活動助成 (7)	310,000

住民全般	サロン活動助成 (5)	224,000
	中学校福祉教育推進事業 (5)	141,400
	小学校福祉教育推進事業 (19)	355,100
	幼稚園福祉教育推進事業 (6)	46,600
	保育所福祉教育推進事業 (16)	228,289
	地域子ども見守り活動助成 (19)	224,900
	小地域いきいきネットワーク活動助成 (137)	3,388,500
	福祉活動助成 (4)	105,000
	子育て支援事業	375,532
	社協広報紙発行	116,308
	ホームページ管理費	10,324
	懇談会	25,341
	福祉出前講座	972
	助成関係案内郵送料	29,318
合 計	7,024,584	

### 【成果】

- ・ 街頭募金では中学生を含む大勢のボランティア等の協力を得て啓発活動を行うことができ、今年の街頭募金額を上回った。

### 【課題】

- ・ 平成 30 年度より今まで社協が行っていた配分事業を共同募金委員会が行うこととなる。事務局を担う市と本会がより一層連携し、情報共有しながら進めていく必要がある。



## (2) 歳末たすけあい募金

配分内容の課題を整理し、民生児童委員協議会や関係機関と課題解決に向けて協議をおこない、支援を必要としている人々が地域で安心して暮らすことができるよう歳末たすけあい運動に取り組んだ。

### 【主な内容】

#### ① 歳末たすけあい募金 (単位：円)

戸別募金	6,919,729
その他	203,847
前年度分再交付金	1,096,018
合 計	8,219,594

#### ② 歳末たすけあい配分

配分先	件数(件)	金額(円)
要生活支援世帯	267	4,837,000
(加算) 未就学児童	10	40,000
小・中学生	41	164,000
高校生	25	100,000
専門/大学生	9	36,000
長期療養者	30	270,000
在宅障害児者	70	630,000
単親世帯/父母のいない世帯	43	516,000
家事援助サービス	14	40,749
寝具丸洗いサービス	7	43,632
歳末訪問	1,706	264,430

乳児院クリスマス訪問	1	25,200
事務費		107,458
京都府共同募金会へ戻入		1,145,125
合 計		8,219,594

#### 【成果】

- ・ 寝具丸洗いサービスの利用申し込み者は昨年同様7件であったが、利用者からは喜びの声があった。クリスマス訪問では、サンタの訪問に子ども達は目を輝かせ楽しいひと時となった。

#### 【課題】

- ・ 歳末調査は、調査基準・調査方法・配分対象・配分方法等のあり方について民生委員への負担軽減も含め検討が必要である。家事援助サービスは従来の家事援助サービスに限定したため利用者が減った。

## 6 災害にも強いまちづくり事業

### (1) 減災・防災学習

災害等の有事に備え、地域と協力し減災や防災学習会を行った。

#### 【主な内容】

- ・ サロンや防災訓練の際に地域からの要請を受け、非常持ち出し品、避難所、非常食、家具転倒防止等減災や防災学習会の出前講座を実施した。
- ・ ボランティアフェスタにおいて防災コーナーを設け、非常食を利用したおやつの作り方の実演や、避難所における排せつ物の処理方法についての学習の機会をつくった。



#### 【成果】

- ・ 平時において備えておくことの大切さや、有事の際の課題について考える機会となった。

#### 【課題】

- ・ 要請を受けて学習会を実施するだけでなく、地域・学校・企業や団体等にも呼びかけて、より多くの方の学習の機会をつくり出していくことが必要。

### (2) 災害ボランティアセンターの運用訓練

災害ボランティアセンター運用につなげるため、近隣の社会福祉協議会が実施する運用訓練に参加した。

#### 【主な内容】

与謝野町社会福祉協議会及び伊根町社会福祉協議会が実施した災害ボランティアセンター運用訓練に参加した。

#### 【成果】

- ・ 他の災害ボランティアセンターの運用訓練に参加することで、それぞれの方法について体験的に学ぶことができた。

#### 【課題】

- ・ 一部の職員だけでなく、すべての職員が災害ボランティアセンターを開設し運用できるようマニュアルの確認や継続的に訓練することが必要。

## 7 婚活支援センター事業

少子化、未婚化対策の一助として婚活支援センター「出会いは京丹後」を運営し、市内で独身者の婚活支援事業に取り組む地域組織やボランティア団体、NPO法人等と連携を図りながら結婚に関心のある独身男女の出会いを支援した。

### 【主な内容】

- ・ 婚活ファシリテーター登録：18人（継続）
- ・ 婚活ファシリテーター意見交換会：4回（内2回は婚活支援事業実施団体と意見交換）
- ・ 婚活ファシリテーターステップアップ講座  
日時：7月22日 場所：弥栄地域公民館 参加者：4人  
内容：ワークショップにより婚活支援者としてのコミュニケーション方法を学んだ後、講師が婚活イベント直前講座のデモンストレーションを行い体験的に学んだ。
- ・ 婚活サポート企業：31事業所
- ・ 結婚に関心のある独身者を対象とした「婚活イベント直前 第一印象アップ講座」の開催  
婚活ファシリテーターが講師となり、婚活イベントに参加する男性を対象に2回実施した。
- ・ 婚活情報提供希望者（メルマガ登録者）：85人登録（前年度より20人増）
- ・ 市内婚活支援事業実施団体とのネットワーク会議：2回
- ・ 市内婚活支援事業実施団体の支援  
ホームページ・メルマガジン・サポート企業・婚活ファシリテーターを通じて参加者募集協力を行った。  
イベントスタッフ向け講座や、婚活イベントに参加する男性を対象とした「婚活イベント直前 第一印象アップ講座」を実施し、カップル成立率を上げるために協力した。
- ・ ホームページの運営及び情報発信  
「丹後の暮らしって？」コーナーを創設し、結婚を機に京丹後で暮らし始めた方や子育て世代包括支援センターからの寄稿いただき、京丹後での結婚生活の魅力や子育て支援状況等について発信した。
- ・ 婚活者を対象とした交流イベント「恋話会」を2回実施した。
  - ①6月22日…15人参加 4カップル成立
  - ②10月22日…女性の参加者が集まらず中止
  - ③3月3日…19人参加（女性限定企画）

### 【成果】

- ・ 「婚活ファシリテーターステップアップ講座」受講後、婚活ファシリテーター2名が「婚活イベント直前 第一印象アップ講座」の講師として活動した。婚活支援事業実施団体からは好評で、受講した男性がカップルになる率が高いと報告があった。
- ・ 婚活サポート企業が来店者に広報するようになったことで、婚活支援センターや婚活イベントについてより多くの方に知っていただけることにつながった。

### 【課題】

- ・ 女性の婚活イベント参加申し込みが少ない。また、カップリングしてもその後の交際につながらないという声がある。婚活イベント以外の出会づくりについて検討する必要がある。

## 8 その他の事業

### (1) 当事者組織の活動支援

当事者組織が取り組む活動の周知協力と後援等により活動支援を行った。

### 【主な内容】

- ・ 「世界自閉症啓発デー～集まれ みんなの青い光 たんご～」の企画及び開催の協力を行った。
- ・ 京都府内父子福祉連絡会北部5市親子交流会の企画協力を行い対象者の参加を呼び掛けた。
- ・ 桃山の里ふれあいフェスタの実行委員として参画し、当日はボランティア等の派遣もおこなった。

### 【成果】

- ・ 丹後地域では初となる「世界自閉症啓発デー」の開催が実現した。自閉症だけでなく発達障害について考える機会がくれた。

### 【課題】

- ・ 当事者組織の会員減少を課題としている団体が複数あり、その原因究明と解決に向けた支援が必要。

## (2) 鍼灸事業

明治国際医療大学と協力して実施し、高齢者や健康保持に不安のある方に、鍼灸を通じて健康と体力の維持向上に努めた。

### 【主な内容】

- ・ チラシの配布や防災行政無線等で日程をお知らせし、啓発を行った。
- ・ 学生による実習 11 回 (22 日間)
- ・ 教員診療 (4 日間)
- ・ 延べ利用人数 204 人 (前年度比 : 18 人減)
- ・ 学生/教員延べ人数 66 人 (前年度比 : 56 人減)

### 【成果】

- ・ 毎年継続で利用されている方には好評であり、診療に来られる。
- ・ 大学の学生数も減っているが、この丹後実習は学生が施術できる唯一の実習現場であるため利用者は減っているが実習先として継続が求められている。

### 【課題】

- ・ 利用者が固定化しており、さらに減少傾向にある。利用者増加に向けた検討が必要。

## (3) 祭壇等貸付事業

自宅での葬儀を希望される方へ祭壇貸付事業を行うが希望者がなかった。

### 【課題】

- ・ 自宅で葬儀を執り行うかたが減少し、本年度も利用者がなかった。平成 30 年度中に事業廃止の方向で検討する。

## II 介護保険事業

### 1 居宅介護事業

#### (1) 訪問介護・介護予防訪問介護事業・介護予防・日常生活支援総合事業(みなし指定)…資料 1 3

利用者が、可能な限りその有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、居宅における生活を支援した。

### 【主な内容】

- ・ 利用者と家族の意見や要望等を把握し、モニタリングの実施に努めた。
- ・ 市、包括介護支援センター、居宅介護支援事業所等と常時連携しながら事業を実施した。

- ・ 実利用者数 53 人
- ・ 訪問回数 10,948 回（前年度より 897 回減）

#### 【成果】

- ・ ヘルパーの働きかけにより、利用者の意欲の向上、気力の回復につなげた。また、利用者が正確な服薬ができ、体調の安定を図ることができた。

#### 【課題】

- ・ 介護報酬改定に伴う生活援助の報酬単価の引き下げにより、今後は収入の減が想定される。利用者の確保にむけ居宅介護支援事業所との連携の強化が必要。

### （２）訪問入浴介護・介護予防訪問入浴介護事業…資料 1 4

利用者が、可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう、居宅において入浴援助をおこない、利用者の清潔保持及び心身機能の維持に努めた。

#### 【主な内容】

- ・ 利用者の在宅生活を重視し、居宅介護支援事業所や医療機関との連携を図り、計画的に事業を実施した。
- ・ 実利用者数 12 人
- ・ 訪問回数 132 回（前年度より 97 回減）

#### 【成果】

- ・ 自宅での安心、安全な入浴を提供した。

#### 【課題】

- ・ 利用者数が前年度から 10 名の減。利用者の確保にむけ居宅介護支援事業所との連携の強化が必要。

## 2 通所介護事業

### （１）通所介護・介護予防通所介護事業…資料 1 5

利用者が、可能な限りその有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、生活指導や機能訓練を提供し、社会的孤立の解消や心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的、精神的負担の軽減に努めた。

#### 【主な内容】

- ・ 生活指導や機能訓練、排泄及び入浴介助、食事の提供を行った。
- ・ 年 6 回の保育所交流会を行い、世代間での交流を持った。
- ・ 実際に介護している家族の悩みや相談を聞くために、家族交流会を実施した。
- ・ 年間を通して行事を行った。
- ・ 延べ利用者数 6,022 人（前年度より 48 人減）
- ・ 平均利用者数 23.7 人



#### 【成果】

- ・ 季節感を大切にした行事や、個性に合わせ工夫したレクリエーションや機能訓練について利用者から良い評価をうけ、新たな利用者につながった。

### 【課題】

- ・ 介護業務での事故や、送迎中の事故があった。協議した再発防止策を実行し、定期的に確認することが必要。

## 3 介護老人保健施設事業…資料 1 6

「第 6 期京丹後市高齢者保健福祉計画」に基づき、今後更に求められるサービスの質・量の多様化及び高度化に対応できる事業所として、より一層住民に支援される施設となるよう努めた。

各加算収入取得に必要な職員の確保がかなわなかったこともあり、前年に比べ介護保険収入が減収した。

### 【主な内容】

- ・ 介護老人保健施設事業：利用者数延べ 30,313 人(前年度より 217 人増)
- ・ 短期入所療養介護事業/介護予防短期入所療養介護事業：利用者数延べ 2,916 人(前年度より 237 人減)
- ・ 通所リハビリテーション事業/介護予防通所リハビリテーション事業：利用者数延べ 8,136 人(前年度より 511 人減)
- ・ 居宅介護支援事業 介護給付・予防給付ケアプラン及び介護予防ケアマネジメント(新規)：利用者数延べ 874 件(前年度より 8 件増)
- ・ 効率的な運営のため、利用者数や収支の状況等を常に確認し、適切な職員配置や業務内容改善を実施した。
- ・ 生活活動向上委員会において、安全で快適な施設環境の中でより豊かな施設生活実現に向けた検討を行い、環境改善等を実施した。
- ・ 積極的に学生の職場体験やボランティアを受け入れた。
- ・ 内部研修及び外部研修を活用し、職員の資質向上を図った。
- ・ 利用者の状況について、利用者家族に対する細やかな情報提供と、行事等を利用した交流を図り良好な関係づくりに努めた。

### 【成果】

- ・ 各種委員会や研修会を実施し、専門性を活かした事業を展開できた。
- ・ 学生の職場体験やボランティア、傾聴や演芸等のボランティア活動を積極的に受け入れたことで、より豊かな施設生活につながった。

### 【課題】

- ・ 今後の施設運営や利用者ニーズへの対応にあたり、専門職員をはじめとする職員確保と、効果的な職員体制及び業務の見直しが必要。

## 4 介護予防・日常生活支援総合事業

### (1) 生活支援体制整備事業

生活課題に応じた生活支援・介護予防サービスの充実に向けて、生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)を置き、生活支援の担い手の養成、地域資源の開発、ネットワーク化を行った。

### 【主な内容】

#### ① 生活支援コーディネーターの設置

第 1 層(市全域を範囲とする)の生活支援コーディネーターを配置し、地域における生活支

援と介護予防活動の必要性について、出前講座や関係団体の会合等をとおして地域住民や関係者へ周知した。

## ② 地域に不足するサービスの創出

住民懇談会や地域サロン、介護医療専門職が集まる地域ケア推進会議、地域福祉活動計画策定にむけたヒアリング等をとおし、生活課題の把握につとめた。また、あわせて、今ある地域資源について地域ケア推進会議等で調査し、情報の把握と共有を図った。

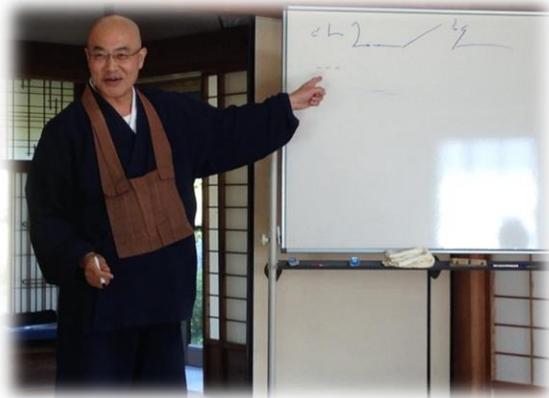
今ある資源の活用だけでは解決しない課題としてあがっている「買い物に行けない」や「男性の集まる場がない」等への支援策として「出張商店街」の提案や、大宮町仏教会の協力を得て「お寺でカフェ&お話をきく会」を実施した。

また、大宮町善王寺区の「まちづくり計画」に、生活課題としてあがっている「ゴミ出し支援」について関係者と協議し、現状調査等民生児童委員と行った。

〈お寺でカフェ&お話をきく会〉 男性対象

5日開催し、のべ50人（実人数22人）参加した。

- ・ 三要寺 「精進料理についてのお話」 講師：副住職 北島 洪雲 氏
- ・ 妙性寺 「国会（衆議院）速記のお話」 講師：住職 臼井 樸堂 氏
- ・ 周徳寺 「空き家の再活用を考える」 講師：blueto 吉岡 大 氏
- ・ 萬歳寺 「終活のお話し～今後の人生をより良く過ごすために～」  
講師：司法書士 俣野 裕哉 氏
- ・ 長福寺 「お寺の歴史のお話」 講師：住職 岩崎 広義 氏



## ③ サービスの担い手の養成

アクティブシニアスクールやボランティア養成講座、出前講座等をとおして、地域で活動できる担い手の養成を行った。

〈アクティブシニアスクール〉

丹後会場（7/3～13の4日間 延べ73人）・久美浜会場（7/18～28の4日間 延べ21人）で実施した。

- 「知って得する薬の話し」 講師：ゆう薬局 船戸 一晴 氏
- 「シルバーカー乗車体験」 講師：(株)セリオ 高岡 浩昌 氏
- 「京丹後の婚活事情」 講師：婚活ファシリテーター世話やき隊 大久保 里美 氏、小森 明美 氏
- 「介護保険制度のあらまし（市出前講座）」 講師：長寿福祉課
- 「ご近所パワーの活かし方」 講師：西本町応援隊 板垣 熙 氏、谷口 潔 氏

〈丹後会場のみでの学習内容〉

- 「地域資源循環型社会をめざして」 講師：NPO法人 エコネット丹後 味田 佳子 氏
- 「東日本大震災被災地支援に取り組んで」 講師：ゆるボラ丹後の会 深田 和幸 氏

<久美浜会場のみでの学習内容>

「子育ての仕方いま昔（市出前講座）」 講師：健康推進課

「笑顔の引き出し方」 講師：NPO 法人 あまのはしだて座 佐藤 洋 氏



#### ④ 関係者間の情報共有とネットワークの構築

市包括支援センターが主催する地域ケア推進会議や市長寿福祉課、生活福祉課、市民協働課等関係課、福祉事業を実施する事業所、高齢者等見守りネットワークの加盟事業所、老人クラブ連合会、生活協同組合、福祉委員会、ボランティア連絡会等との情報交換、情報共有につとめた。

- ・地域ケア推進会議（市内4圏域：峰山・大宮、網野、丹後・弥栄、久美浜で開催）圏域ごとに年4回
- ・地域包括ケア実践交流会お気軽サミットへの参加協力
- ・区長勉強会（弥栄町）、まちづくり準備会（丹後町）等への参加
- ・サロンや区民交流等をとおし、地域での見守り活動を推進
- ・高齢者等見守りネットワークの状況

加盟事業所 217 事業所

通報件数 5 件

#### 【成果】

- ・地域づくりの新しい手段として、地域や関係団体に入っていくことができた。
- ・今まで連携していなかった関係者とのつながりが生まれた。
- ・地域にある資源が有効活用できるよう、関係者に情報提供できた。
- ・講座で講師を務めたかたが、地域サロンでも活躍する等つながる機会になった。

#### 【課題】

- ・地域に新たな活動者や動きをつくることは、市域をエリアに実践することは難しい。
- ・課題解決のしくみづくりは、地域との協働で行わないと活動が定着しない。

### （2）健やか生きがい教室事業…資料17

家に閉じこもりがちな高齢者の生きがいづくりや介護予防のために、各種サービスを提供した。

#### 【主な内容】

##### ① 大宮会場

利用者数延べ 2,506 人（前年度より 229 人減）

実施日数 243 日

##### ② 丹後会場

利用者数 延べ 466 人（前年度より 158 人増）

実施日数 48 日

##### ③ 久美浜会場（2会場）



利用者数延べ 686 人（前年度より 254 人減）

実施日数 94 日

#### 【成果】

- ・ 楽しくゆったり利用できるよう配慮し、リフレッシュ効果をもたらすことで心身機能の維持につながった。
- ・ 利用者より「毎週教室に来ることが楽しみで、元気の源になっている」という声があり、生きがいづくりにつながった。
- ・ 地域包括支援センターと連携し、利用者と家族への連絡や訪問を行い、安心して利用できることにつながった。さらに、心身状況等の変化に応じて、他制度利用や介護保険サービス等への移行がスムーズに行えた。

#### 【課題】

- ・ 心身の状況の変化により介護保険サービスへの移行者が増える一方、新規に利用される方が少ない為、利用者数が減少している。

### Ⅲ 社協組織の発展

#### （1）第3次地域福祉活動計画

市の地域福祉計画と整合を図りながら、地域の福祉課題の解決を目指し、地域住民の様々なアイデアや意見を計画に盛り込んだ第3次地域福祉活動計画を策定した。

##### 【主な内容】

- ・ 策定委員会を設置し、住民懇談会等の意見やアンケート調査をまとめ、活動計画に関わる全体事項を協議し策定した。

#### （2）社会福祉大会の実施

本市の社会福祉の推進に貢献された方々に敬意を表するとともに、市の社会福祉の一層の充実と発展を目指す機会として市と共催により開催し、当日の参加者は約 180 人と盛大に実施できた。

##### 【主な内容】

- ・ 社会福祉推進貢献者の表彰  
京丹後市功労者表彰 20 人  
京丹後市社会福祉協議会長表彰 132 人（団体等含む）
- ・ オープニング オカリナ演奏 ライリッシュ・オカリナ連盟 ウィンドウエイ
- ・ 記念講演 『目で聴くワークショップ』

KBS 京都放送 手話と字幕の番組「目で聴くテレビ」

手話キャスター 山本 真記子 氏



### (3) 役員・職員研修会等の実施

社協組織や福祉の動向を見据えた学習の機会を設け役職員の資質向上を図るとともに、情報共有を行った。

#### 【主な内容】

- ・ 役員研修 「第6回きょうと地域福祉活動実践交流会」に参加した。
- ・ 職員研修会 安心安全なサービス提供を行うため「運転者講習会」を実施した。(対象：正職員及び嘱託職員(ふくじゅ除く)・福祉有償運送事業運転協力者 参加:35人)

## 2 組織経営体制の強化

### (1) 組織運営体制の強化等

基盤強化計画に基づき、財政状況ややさか老人福祉施設ふくじゅの指定管理等について法人運営部会で検討、また第2次基盤強化計画を策定した。

#### 【主な内容】

- ・ 第2次基盤強化計画の策定、やさか老人福祉施設ふくじゅ指定管理等について協議した。

### (2) 財政基盤の確保

財政の安定的な確保を目指し、自主財源の柱である会員加入の増強について検討するとともに、寄付金の活用事業を広く周知することにより、さらなる寄付金の増額に繋げた。

#### 【主な内容】

- ・ 会員加入の増強のため、会費が地域福祉事業に活かされていることを広報紙等により周知した。

前年度比：221件減（一般会員218件減・賛助会員4件減・ふるさと会員1件増）

区分 支所	一般会員		賛助会員		ふるさと会員		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
本所	—	—	8	116,000	6	30,000	14	146,000
峰山	2,832	2,849,000	48	232,000			2,880	3,081,000
大宮	2,451	2,537,000	25	101,000			2,476	2,638,000
網野	2,728	2,804,000	126	490,000			2,854	3,294,000
丹後	1,550	1,557,000	55	183,000			1,605	1,740,000
弥栄	1,258	1,378,000	23	130,000			1,281	1,508,000
久美浜	2,517	2,552,000	28	148,000			2,545	2,700,000
合計	13,336	13,677,000	313	1,400,000	6	30,000	13,655	15,107,000

- ・ ふるさと会員は、1事業所より加入の申出があり、5事業所1個人となった。
- ・ 広報紙に寄付内容について掲載したが、寄付金の活用内容と税額控除対象法人であることの周知をするに至らなかった。
- ・ 福祉のまちづくりや地域福祉活動に対して87件、3,978,442円の寄付が寄せられた。(物品含む。)
- ・ 福祉基金を活用し、米寿のお祝いとして482名の方に記念品を贈呈した。
- ・ 福祉基金の有利な運用に努めた。

## 3 会議等開催状況

- ① 理事会 5回
- ② 評議員会 2回

- ③ 監査会 2回
- ④ 法人運営部会 6回
- ⑤ 地域福祉ボランティア部会 3回
- ⑥ 広報委員会 6回
- ⑦ ボランティア基金委員会 5回
- ⑧ 支所委員会 20回（峰山5・大宮2・網野3・丹後4・弥栄3・久美浜3）

### 資料1 地域福祉推進組織の組織化状況

町	地区数	新規組織化数	組織化済数	組織化率
峰山	37	0	35	94.6%
大宮	16	0	14	87.5%
網野	31	0	23	74.2%
丹後	37	0	29	78.4%
弥栄	15	0	15	100.0%
久美浜	71	3	37	52.1%
合計	207	3	153	73.9%

### 資料2 小地域いきいきネットワーク活動状況

町	実施地区	実施率	実施事業数	参加延べ人数
峰山	31	83.8%	69	5,113
大宮	14	87.5%	42	1,501
網野	20 (単区数35)	76.0%	27	1,786
丹後	21	56.8%	47	1,818
弥栄	15	100.0%	34	1,509
久美浜	37	52.1%	64	4,262
合計	138	66.7%	283	15,989

### 資料3 地域主催サロン

町	実施地区	サロン数	実施回数	参加延べ人数
峰山	28	28	244	4,702
大宮	11	17	227	3,302
網野	17 (単区数25)	19	233	3,566
丹後	20	20	160	2,384
弥栄	14	14	151	2,987
久美浜	11	11	108	1,242
合計	101	109	1,123	18,183

内、サロン区分別

町	区民全体	高齢者	子育て
峰山	22	6	0
大宮	3	8	6
網野	4	15	0
丹後	17	3	0
弥栄	10	4	0
久美浜	5	6	0
合計	61	42	6

### 資料4 当事者・ボランティア主催サロン

	サロン数	実施回数	延べ参加者数
高齢者	6	104	1,487
障害者	4	49	553
児童青少年	7	111	2,131
住民全般	5	62	428
合計	22	326	4,599

資料5 地域ひとつなぎ事業

	実施団体 (11団体)
峰 山	八区福祉会・峰山町12区福祉会・峰山町第14区福祉ふれあい委員会・菅区福祉委員会・鱒留区福祉推進会議・矢田福祉会
大 宮	森本福祉委員会・三重地区社会福祉会・河辺地区社協
久美浜	神野地区自治会・みんなのふる里

資料6 学校福祉学習への協力

学校名	日 時	対 象	内 容
長岡小学校	11月24日 ～11月27日		福祉学習への高齢者擬似体験セットと車いす貸し出し
丹波小学校	11月29日		福祉学習への車いす体験と講師派遣調整
弥栄小学校	11月21日	全学年	福祉講座、車いす介助体験、高齢者擬似体験
大宮中学校	7月10日	3年生	地域学習会の講師
	10月 5日 10月 6日	3年生	健やか生きがい教室における福祉実習の受け入れ (介護予防体操補助、お話し相手、レクリエーション体験)
弥栄中学校	10月 4日	1年生	地域福祉活動計画、社協の取り組み
	11月16日	3年生	認知症理解、高齢者擬似体験、車いす介助体験
久美浜小学校	4月24日		車いす貸し出し
峰山高等学校 弥栄分校	6月 2日	2年生	認知症サポーター養成講座
久美浜高等学校	7月13日 2月 1日 2月22日	福祉系 列生徒	健やか生きがい教室における福祉実習の受け入れ (介護予防体操補助、お話し相手、生徒によるレクリエーション体験)

資料7 福祉有償運送事業

	峰 山	大 宮	網 野	丹 後	弥 栄	久美浜	合 計
実利用者数	26	28	36	13	14	32	149
利用回数	946	916	1,576	522	387	2,981	7,328
対象者内訳							
①高齢	242	374	529	129	109	218	1,601
②透析	641	405	954	389	264	2,585	5,238
③障害	63	137	93	4	14	178	489
目的別内訳							
①医療機関	940	914	1,576	522	387	2,979	7,318
②公共機関	6	2	0	0	0	2	10
③福祉サービス	0	0	0	0	0	0	0

### 資料8 雪下ろし・雪すかし事業

	地区数	雪下ろし軒数	雪すかし件数	活動人数
峰山	10	0	297	58
大宮	11	7	121	42
網野	12	5	66	23
丹後	8	3	172	44
弥栄	13	5	302	48
久美浜	5	0	39	19
合計	59	20	997	234

### 資料9 食の自立支援サービス事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用実人数	(46)	(48)	(52)	(51)	(46)	(46)	(46)	(37)	(34)	(33)	(36)	(41)	71
配食数	朝食	94	113	108	88	84	69	49	30	31	32	39	768
	昼食	603	632	663	667	581	562	570	505	486	453	500	6,634
	夕食	657	731	800	758	710	727	619	499	526	529	473	7,665
合計配食数	1,354	1,476	1,571	1,513	1,375	1,358	1,238	1,034	1,043	1,013	917	1,175	15,067

### 資料10 京丹後市丹後老人福祉センター管理運営事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
部屋利用者	274	136	221	335	147	291	217	265	94	204	130	122	2,436
鍼灸	22	23	74	24	10	24	43	26	6	0	13	5	270
温泉入浴者	308	264	264	225	196	209	225	265	235	239	226	289	2,945
合計	604	423	559	584	353	524	485	556	335	443	369	416	5,651

### 資料11 障害居宅介護事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用実人数	(12)	(9)	(12)	(11)	(12)	(11)	(11)	(10)	(11)	(11)	(9)	(10)	13
訪問日数	30	31	30	31	31	30	28	30	31	31	28	31	362
延べ利用回数	148	100	148	152	158	154	104	121	134	120	115	148	1,602

### 資料12 在宅重度身体障害者訪問入浴事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用実人数	(2)	(1)	(2)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(2)	(2)	(2)	(2)	3
訪問日数	10	2	9	12	10	12	12	7	8	8	7	9	106
延べ利用回数	11	2	12	20	14	19	20	7	9	8	7	10	139

### 資料13 訪問介護・介護予防訪問介護事業

介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者	8	9	9	8	10	8	9	9	4	4	4	5	87
要支援1	16	23	20	21	13	12	13	13	8	10	8	4	161
要支援2	28	34	33	45	36	43	44	38	44	45	39	31	460
要介護1	178	199	209	244	252	279	277	262	272	299	263	243	2,977
要介護2	442	494	424	420	364	384	418	383	389	349	283	307	4,657
要介護3	92	85	81	78	88	80	76	101	87	77	70	76	991
要介護4	81	43	102	144	104	110	79	103	110	94	94	42	1,106
要介護5	0	26	39	34	18	12	0	64	71	69	61	115	509
訪問回数	845	913	917	994	885	928	916	973	985	947	822	823	10,948

**資料14 訪問入浴・介護予防訪問入浴事業**

介護度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防	利用人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	利用人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	利用人数	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	4
	利用回数	0	0	0	0	1	3	0	2	0	0	0	0	6
要介護3	利用人数	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
	利用回数	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	3
要介護4	利用人数	2	2	2	2	0	0	2	2	2	2	1	1	18
	利用回数	8	12	7	4	0	0	5	5	5	7	4	4	61
要介護5	利用人数	0	0	1	1	2	2	2	2	2	2	2	1	17
	利用回数	0	0	2	3	8	5	8	8	8	7	7	6	62
総合計 (人数/回)	利用人数	2	2	3	3	4	5	4	5	4	4	3	2	41
	利用回数	8	12	9	7	11	9	13	15	13	14	11	10	132

**資料15 通所介護・介護予防通所介護事業**

介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者	8	9	3	2	4	4	5	3	3	0	0	0	41
要支援1	28	26	24	25	25	26	21	28	20	24	24	26	297
要支援2	68	84	83	80	102	95	94	95	72	63	57	85	978
要介護1	130	125	123	135	120	109	96	111	97	93	90	109	1,338
要介護2	125	145	146	125	168	156	182	168	158	129	146	161	1,809
要介護3	93	93	97	109	104	81	63	59	53	32	31	53	868
要介護4	47	54	58	54	40	41	52	53	49	42	28	31	549
要介護5	9	8	12	7	6	7	10	20	16	11	12	24	142
利用者数計	508	544	546	537	569	519	523	537	468	394	388	489	6,022
稼働日	20	23	22	21	23	21	21	22	21	19	19	22	254
平均利用者数	25.4	23.7	24.8	25.6	24.7	24.7	24.9	24.4	22.3	20.7	20.4	22.2	23.7

**資料16 介護老人保健施設事業**

①老人保健施設事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
京丹後市	1,705	1,742	1,580	1,689	1,838	1,746	1,645	1,538	1,767	1,689	1,663	1,732	20,334
与謝野町	329	248	314	308	258	345	360	267	308	347	356	356	3,796
宮津市	301	323	387	505	403	322	341	392	458	497	375	465	4,769
その他	91	97	116	141	166	172	101	55	114	137	117	107	1,414
計	2,426	2,410	2,397	2,643	2,665	2,585	2,447	2,252	2,647	2,670	2,511	2,660	30,313

②短期入所療養介護事業/介護予防短期入所療養介護事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
京丹後市	273	286	293	192	184	225	260	258	227	141	130	136	2,605
与謝野町	4	28	7	11	0	3	9	0	4	10	0	19	95
宮津市	10	3	20	0	32	24	13	7	11	0	7	36	163
その他	0	0	5	0	0	0	4	12	11	3	15	3	53
計	287	317	325	203	216	252	286	277	253	154	152	194	2,916

③通所リハビリテーション事業/介護予防通所リハビリテーション事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日	20	23	22	21	23	21	22	22	20	19	18	22	253
京丹後市	674	771	736	699	710	666	692	708	627	584	569	700	8,136
他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	674	771	736	699	710	666	692	708	627	584	569	700	8,136

④居宅介護支援事業 介護給付・予防給付ケアプラン及び介護予防ケアマネジメント

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護給付	61	64	62	61	59	60	65	62	61	61	61	60	737
予防給付	8	9	10	9	10	8	8	8	9	7	7	7	100
介護予防	3	2	3	3	3	3	3	4	4	3	3	3	37
計	72	75	75	73	72	71	76	74	74	71	71	70	874

資料17 健やか生きがい教室

①大宮会場

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用人数	225	217	240	215	215	214	229	202	211	179	174	185	2,506
実施日数	20	20	22	20	21	20	21	20	20	19	19	21	243

②丹後会場

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用人数	39	38	40	38	37	40	40	47	39	39	39	30	466
実施日数	4	4	4	4	4	4	4	5	4	4	4	3	48

②久美浜会場（2会場）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用人数	63	57	70	57	66	75	64	63	56	41	30	44	686
実施日数	8	7	9	7	8	9	8	8	8	8	6	8	94